

ゆうた杯パパさん9人制バレーボール大会

- とき 7月13日(日)の午前9時から
- ところ 市民会館大ホール
- 参加資格 市内の同一小学校区内に在住または同一職場内の既婚および30歳以上の男性で構成するチーム(選手は15名以内。監督・主将が選手を兼ねるときは、選手の数に含める。チーム構成員のうち3名まで女性可)
- 参加費 1チーム3,000円(バレーボール協会登録チームは1,000円)
- 申込み 7月10日(木)までに、生涯学習課(☎22-0916)へ。

ソフトテニス教室

- とき 7月20日(日)の午前9時~午後3時
- ところ 東町庭球場
- 対象 中学生以上で、市内に在住または在勤の人
- 参加費 500円
- 申込み 7月15日(火)までに、海洋センター(☎23-4800)へ。

社会福祉法人「にいつ福祉会」で職員採用試験を実施

- 採用職種 介護支援専門員(4名)、生活相談員(6名)、看護士(8名)、介護職員(正職10名、臨時職26名)、管理栄養士(1名)
- 勤務地 特別養護老人ホーム等「こぐち苑(小口)」
- 1次試験日 7月27日(日)
- 試験会場 新津第一中学校
- 申込み 7月17日(木)の午後4時30分までに、市役所2階の「にいつ福祉会」へ。
- 問い合わせ 「にいつ福祉会(☎21-6161)へ。 申込用紙は、福祉健康課とハローワーク新津にあります。

麻しんは1歳になったら 予防接種を受けましょう

昭和54年4月2日~62年10月1日生まれの人 風しんは9月30日までに

◆麻しん(はしか)予防接種
県内で小・中学生、高校生の麻しんが流行しています。麻しんは、感染すると肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を伴いやすい重い病気です。予防接種を1歳になったら早めに受けて予防しましょう。
対象 満1歳以上
費用 満1歳~7歳6カ月未満の乳幼児・児童は無料。それ以外の人是有料。
症状が現れたら、人との接触を避け早めに医療機関で受診してください。

◆風しん予防接種 ◎9月30日までに(昭和54年4月2日~62年10月1日生まれの人)
風しんは、大人になってからかかると重い合併症を伴いやすく、特に妊娠初期の妊婦がかかると、赤ちゃんが「先天性風しん症候群(白内障・先天性心臓病・難聴など)」になる可能性が高いと言われています。
現在、満1歳から7歳6カ月未満までの乳幼児・児童を対象に個別予防接種を無料で実施していますが、予防接種法改正による経過措置で9月30日までは下記の人も対象となりますので、まだ受けたことのない人は期間満了前までに受けてください。
対象 昭和54年4月2日~62年10月1日生まれで、今までに風しんの予防接種を受けていない人 妊娠している人は受けることができません。
費用 無料

◆接種方法 個別予防接種となりますので、4月1号22頁に掲載の個別予防接種実施医療機関へ予約してください。

◆持ち物 母子健康手帳、予診票、接種券(は保健福祉センターにあります)

◆問い合わせ 福祉健康課健康増進係(保健福祉センター内、☎25-2510)へ。

麻しんの症状...38 前後の発熱、咳、鼻汁、目やに、頬の粘膜にコブリック斑(灰白色の小さい斑点)が出た後、低下した体温が再び高熱になり、赤い発疹が耳の後ろから全身にかけて広がります。

市民自主講座「健康学」 極限ストレッチ 心体育

- とき 7月8日(火)・15日(火)・22日(火)の3回。時間はいずれも午後2時~2時50分
- ところ 地域学園
- 内容 腹式呼吸、快笑(朗詠)法ほか
- 講師 新井清さん(日宝町)
- 参加費 無料
- 申込み・問い合わせ 開講10分前に、会場にて。新井さん(☎22-8273)へ。

食生活改善推進員の伝達講習会

- とき 7月18日(金)の午前9時30分~午後1時
- ところ 保健福祉センター調理室
- 定員 30名(申込順)
- 内容 「生活習慣病予防の食事」のお話と調理実習(和風酢豚、ナムルなど)
- 参加費 300円
- 持ち物 エプロン、三角きん、ふきん
- 申込み 福祉健康課健康増進係(☎25-2510)へ。

献血血液はこのように活用されています

全血輸血と成分輸血

けがなどによる大量出血や血液の病気の治療には、血液をもとにした製剤(血液製剤)の投与、つまり輸血が必要となります。輸血といえば、昔は血液の全成分をそのまま輸血(全血輸血)することがほとんどでした。現在では、血液を赤血球、血小板、血しょうなどの成分に分け、必要な成分だけを輸血する成分輸血が中心になっています。

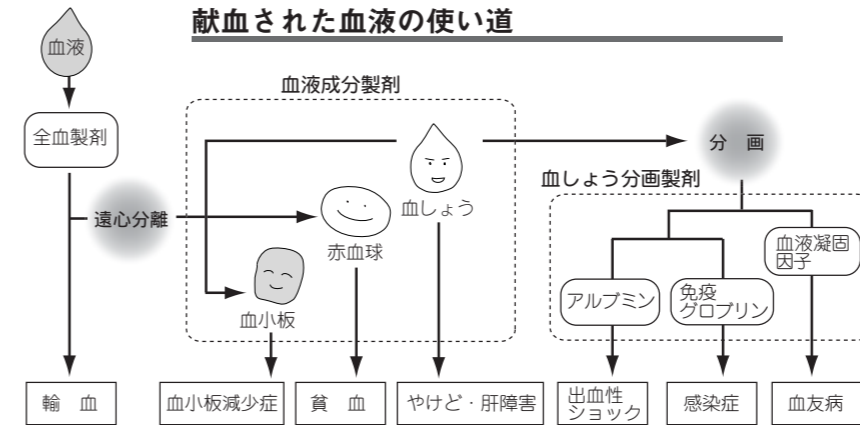
こうした成分輸血には、心臓など循環器系への負担を減らしたり、不必要な成分による副作用を防止するなど、全血輸血に比べて優れた点があります。また献血された貴重な血液を、有効に活用することができます。

血しょう分画製剤とは

血液の細胞成分は、血しょうの中を浮遊して、全身を流れています。血しょうは90%が水分で、その中にたんぱく質や塩類、脂肪などの固形成分が溶け込んでいる液体です。この中で最も多いたんぱく質には、凝固因子やアルブミン、免疫グロブリンなどの種類があって、人間が生きていくうえで欠かせない働きをしています。

特定のたんぱく質を物理化学的に分離して取り出すことを分画といい、このようにしてつくられたものを血しょう分画製剤といいます。

献血された血液の使い道



血液凝固因子
このタンパク質の一部は、血友病()患者の治療などに用いられます。

※血液を固まらせる凝固因子が先天的に欠乏しているために起こる病気、出血が止まりにくい症状があります。

アルブミン
血管内の水分や塩類を保持し、血液が流れるために必要な機能を維持するほか、ビタミンやホルモンなどを運ぶ働きもします。

免疫グロブリン
細菌やウイルスなどの感染症から体を守る働きをしています。

国内自給の達成を目指して

昭和50年代後半から、日本でも血しょう分画製剤の需要が増加して、そのほとんどを海外から輸入していましたが、このころ、海外の血液による非加熱の血液凝固因子製剤を使ったことにより、多くの血友病患者がエイズウイルスに感染する問題が起きました。

血友病の治療に使う血液凝固因子製剤については、平成6年には国内自給を達成しましたが、いまだにアルブミンや免疫グロブリンは輸入に依存しています。

現在の科学では、血液を人工的に造ることはできません。また血液は生きた細胞なので、長い期間にわたって保存することもできません。平成20年を目標に、すべての血液製剤を国内の献血により自給する計画が進められています。血液をもとにした製剤に必要な患者へいつでも十分に提供するには、健康な皆さんの献血への協力が必要なのです。

7月は「愛の献血 助け合い運動」 月間です

お問い合わせは 福祉健康課福祉係 (☎24-2111内線145)へ

緑の風薫り 笑顔ゆきかう ふれあい文化都市

多彩なアートが待っています

にいつ 新津

新津市第3次総合開発計画：平成7~16年度

- 水と緑のまち 快適で安らぎが漂うまち
- 人が輝き活力のみなぎるまち
- にぎわいと交流のまち
- 明るく元気なまち 健やかで優しさが響きあうまち
- 豊かな人間味と文化の薫るまち
- 個性豊かな文化のまち



総合芸術空間

新津市美術館

ところ 新潟県新津市蒲ヶ沢 花と遺跡のふるさと公園内
開館時間 午前10時~午後5時(入場は午後4時30分まで)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は火曜日)および年末年始
問い合わせ ☎0250-25-1301